

すわ大昔フォーラム

諏訪市博物館 一般社団法人 大昔調査会

第 30 回

事前申込制



～諏訪市文化センター建設 60 周年記念事業～



◆ 講演会 と 建物解説 ◆

「和風モダニズムの建築美・諏訪市文化センター」

◇ 日時： 2022年10月9日(日) 13:30～15:00

◇ 会場： 諏訪市文化センター ホール (諏訪市湖岸通り 5-12-18)

諏訪市文化センターは、1962年に北澤工業株式会社(旧東洋バルヴ)の福利厚生施設「北澤会館」として建てられ、その後諏訪市に寄贈されました。設計者の吉田五十八(1894～1974)は昭和期に活躍した建築家で、和風の意匠である「数寄屋建築」を独自に近代化したことで知られ、成田山新勝寺本堂・中宮寺本堂など多くの著名建築を手がけました。

文化センターは鉄筋コンクリート造でありながら入母屋造りを感じさせる屋根や、外壁には千本格子風の装飾、ベランダには菱形断面の高欄風の手すりがあり、内部にもホワイエ天井の垂木風の装飾、階段踊り場の障子など、随所に伝統的な日本建築の意匠が付加され、2014年には国登録有形文化財にも登録されています。建設60周年を記念して、講演会を開催します。

◇ 講師： 二村 悟 にむらさとる

1972年静岡県生まれ。東海大学大学院修了。博士(工学)(東京大学)。工学院大学総合研究所客員研究員、諏訪市文化財専門審議会委員。主な著書に『水と生きる建築土木遺産』(彰国社)、『食と建築土木』(LIXIL出版)、『日本の建築家解剖図鑑』(エクスナレッジ)など。

◆参加料 無料 ◆定員 先着100名 事前申し込み制

◆申込受付 9月7日(水)から電話にて受付開始 諏訪市博物館まで

電話：0266-52-7080 受付時間：午前9時～午後5時

※新型コロナウイルス感染症の状況次第で中止する場合があります。最新情報は博物館ホームページをご確認ください。